

## 少数台数のリコール届出の公表について (令和4年10月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和4年10月は9件の届出がありましたので公表します。

## 1. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月7日	外 3474	車名：キャデラック 型式：「7BA-C1TL」 通称名：「XT6」	3	令和4年5月9日
不具合の部位等	車両製造工場において、フューエルポンプコネクターの嵌合状態を確認する点検に用いた衝撃検査により、フューエルタンク内のロールオーバーバルブが脱落してしまった可能性がある。このバルブが脱落した状態で、車両事故などで車が横転した場合、ガソリンが外に漏れる恐れがあり、最悪の場合車両火災につながる恐れがある。			

## 2. 届出者：新潟トランスミス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月12日	5218	車名：ニイガタ 型式：YDS-NR6B 通称名：ニイガタNR303ロータリ除雪車	5	令和3年11月17日～ 令和3年12月20日
不具合の部位等	制動液漏れ警報装置において、制御プログラムが不適切なため、制動液量が規定値より低下しても油量低下警告灯が点灯せず、制動液漏れを運転者が検知出来ないおそれがある。			

3. 届出者：マセラティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月19日	外 3458	車名：マセラティ 型式：7BA-MG38 通称名：ギブリ	97	令和3年3月26日～ 令和3年11月5日
不具合の部位等	エンジン ECU のソフトウェアにおいて、低圧側の燃料圧力を不具合判定するためのプログラムが不適切なため、低圧側の燃料圧力が正常な状態で誤って不具合と判定し、エンジン警告灯が点灯して出力が低下するおそれがある。			

4. 届出者：スカニアジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月20日	外 3486	車名：スカニア 型式：2DG-A4X2ACGL 通称名：スカニア（LPGRSシリーズトラック）	8	令和3年4月3日～ 令和3年5月19日
不具合の部位等	フロントアクスルにあるトラックロッドの製造工程が不適切なため、トラックロッド先端にスリット加工が無いものがある。このためトラックロッド先端をクランプで締め付けてもボールジョイントとの固定が十分でないことがあり、最悪の場合、車両停止時または低速走行時のステアリング操舵により当該部位に大きな負荷がかかる場面において、トラックロッドがボールジョイントより外れ操舵できなくなるおそれがある。			

5. 届出者：プツマイスタージャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月20日	外 3487	車名：スカニア 型式：不明 通称名：BSF38-5.16H コンクリート作業車	2	令和2年10月25日～ 令和2年11月9日
不具合の部位等	フロントアクスルにあるトラックロッドの製造工程が不適切なため、トラックロッド先端にスリット加工が無いものがある。このためトラックロッド先端をクランプで締め付けてもボールジョイントとの固定が十分でないことがあり、最悪の場合、車両停止時または低速走行時のステアリング操舵により当該部位に大きな負荷がかかる場面において、トラックロッドがボールジョイントより外れ操舵できなくなるおそれがある。			

6. 届出者：Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月20日	外 3492	車名：プジョー 型式：5BA-B6HN05 通称名：C3	3	令和4年5月29日
不具合の部位等	車両において、各種部品の車両製造工場で締付確認が不十分な車両がある。このため、締付が不十分なボルトが使用過程で外れて各種部品が脱落等するおそれがある。また、車両の走行安定性が損なわれるおそれがある。			

7. 届出者：ビー・エム・ダブリュ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月24日	外 3488	車名：BMW 型式：3DA-CW30 通称名：「BMW X7 xDr ive35d」	3	平成31年4月29日～ 令和2年7月1日
不具合の部位等	製造時の不具合により、3列目シートの電動式折り畳み機能に必要なプレッシャー スプリングが正しく取り付けられていない、または完全に欠落している可能性がある。そのため、シートのバックレストが完全にロックされず、事故が生じた場合や、急ブレーキを掛けた際にラゲッジルーム内の荷物が滑り、乗員が負傷するおそれがある。			

8. 届出者：ダイハツ工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月27日	5227	車名：ダイハツ 型式：DBA-L675S 通称名：ミラココア	4	平成22年2月4日～ 平成29年11月25日
不具合の部位等	補修用前席シートベルトの巻取り装置において、フォースリミッタ機構の製造不良品を巻取り装置に組み付けたものがある。そのため、衝突時などの際にフォースリミッタが正常に機能せずシートベルトが引き出され、法規である乗員保護性能を満足しないおそれがある。			

## 9. 届出者：新明和工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月31日	5228	車名：UDトラック 型式：2PG-CW5AL 通称名：「クオン」	5	令和4年1月22日～ 令和4年6月18日
不具合の部位等	ダンプ用油圧格納式突入防止装置を装着したダンプ車において、取付作業が不適切なため、衝突時の荷重を受けるストッパプレートを取付けずに製作したものがあ る。このため、試験荷重を負荷した状態における当該装置の変位量が基準を超え、 道路運送車両法の保安基準に適合しない。			

【参考】

●令和4年10月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	14 (-5)	11 (-2)	3 (-3)
輸入車	22 (+9)	16 (+8)	6 (+1)
計	36 (+4)	27 (+6)	9 (-2)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

●令和4年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	16(-6)	21(+7)	37(+1)	524,427(+58,412)	6,723(-9,052)	531,150(+49,360)
5	12(-4)	13(+7)	25(+3)	248,193(-386,298)	23,119(-6,120)	271,312(-392,418)
6	17(-5)	30(+9)	47(+4)	280,301(-1,057,467)	186,244(+179,431)	466,545(-878,036)
7	17(+5)	13(-8)	30(-3)	445,896(+207,438)	24,425(-57,129)	470,321(+150,309)
8	2(-4)	10(-3)	12(-7)	2,714(-11,517)	7,975(-21,615)	10,689(-33,132)
9	18(-1)	9(-14)	27(-15)	157,347(-17,806)	39,972(+30,952)	197,319(+13,146)
10	14(-5)	22(+9)	36 (+4)	172,313(-31,909)	41,095(+33,378)	213,408(+1,469)
小計	96(-20)	118(+7)	214(-13)	1,831,191(-1,239,147)	329,553(+149,845)	2,160,744(-1,089,302)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・上久保 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
--